

おいらせ

Public
Relations
January
2013
No.95

1

復興への鼓動と共鳴

12月9日に開催された震災復興祈念おいらせ町和太鼓フェスティバル。町内外から合わせて5団体が出演しました。出演者たちは、迫力ある演奏で多くの観客を魅了し、その演奏に観客からは、盛大な拍手や歓声を送られていました。写真は躍動感あふれる演奏を披露する王将太鼓の三浦直子さん。

02年頭のごあいさつ ー成田隆町長、佐々木光雄議長ー

04本町商店街に賑わいと元気を取り戻したい

06 Special topics 向山駅ミュージアム1周年記念イベント
水産教室

08 Oirase's Topics まちの話題

12平成24年分所得申告受付が始まります

14 Oirase's Monthly Infomation ～1月のお知らせ～

26 Oirase's Photo Graph ～和太鼓フェスティバル～

28 Zoom Up 松林チヨさん

年頭のごあいさつ

平成25年を迎え、
町・議会の両トップである
町長と町議会議長の今年の抱負を掲載しています。

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

未曾有の惨禍をもたらした東日本大震災から2年が過ぎようとしております。昨年は復興元年との位置付けで、国はもとより各自治体が本格的な震災復興に取り組んでまいりました。

おいらせ町においても、町震災復興計画に基づき、町民の皆さまが安全で安心な暮らしができるよう、防災危機管理体制を強化し、国、県、関係機関との連携を図りながら、「災害に強いまちづくり」を推進してまいりました。復旧そして復興までの道のりは困難を伴いますが、避難路や津波避難タワーを始めとした防災、減災施設を整備するなど、今後も引き続き各種施策に取り組み、「家族・地域の絆を深め、減災を目指した安全・安心のまち」を目指し、着実に実行してまいります。

町民の皆様、あけましておめでとうございます。

町議会を代表いたしましたし、心からお慶び申し上げますと共に、議会運営につきましては、常日頃からご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、平成23年3月11日に日本の地震史上最大の東北地方太平洋沖地震が発生し、広範囲にわたる甚大な人的、物的な被害をもたらしましたことは、記憶の新しいところです。

町では昨年、町震災復興計画を策定し、「家族・地域の絆を深め、減災を目指した安全・安心のまち」を震災復興の理念に掲げ、住民生活の復興、産業・経済の復興、災害に強いまちづくり、社会基盤の復興の4つの基本目標を定め強力に取り組んでいくところです。町議会といたしましては、町民の目線に立ち議会の果たすべき役割と責任を自覚し、町民の安定した暮らしを実現するため、力強く推進して参りたいと考えております。

町民目線の行政運営の

集大成へ



おいらせ町長
成田 隆

さて、迎える巳年は私の1期目、最終の年となります。就任以来心がけてきました「町民目線の行政運営」の集大成の年と位置付け、町政推進5本の柱『①住民と行政の一体化によるまちづくり、②町民のための施策、政策の推進、③夢と希望を持てる政策の立案・実行、④勇気ある改革、改善

の推進、⑤公平公正な町政の推進』に全身全霊を傾けていく覚悟であります。このため、4月に総合力発揮の実効性を高めるため、役場庁内の組織機構を一部見直しし、これら施策の実現に向け、誠心誠意取り組んでまいります。

今、日本は、景気低迷、厳しい雇用情勢、震災復興の遅れ、東京電力福島第一原発事故、エネルギー問題など多くの課題に直面しております。大変厳しい社会情勢であります。町政を預かる者として、住民サービスの安定的な確保と健全な行政運営を通して、おいらせ町を更なる飛躍、発展へと導くことが私の責務であると考えております。何とぞ、皆さまの一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が希望に満ち、皆さまお一人おひとりの笑顔が輝き、幸せを実感できる一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。



百石町と下田町が合併して6年を経過いたしました。議会といたしまして、特別委員会を設置し、役場庁舎のあり方について議論を重ねて参りました。その議論の中で得た結論は、「町民の一体感を醸成するための統合新庁舎の建設」であります。旧百石町と旧下田



おいらせ町議会議長
佐々木 光雄

町の役場庁舎を一つの庁舎に統合し、建設場所(位置)も含め、今後10年程度を目途に統合庁舎建設を実現していくものであります。その前提として、一番大切なのは町民に親しまれる新庁舎の建設でありまして、誰もが合併して良かったと思えるようなまち、おいらせ町に住んで良かったと思えるようなまちづくりを全力で推進して参りたいと思っております。

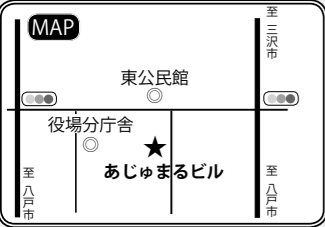
まちづくりには完結という言葉はありません。少子高齢化が進む中、社会情勢も変化しており、それに対応出来る発想の転換を図り議会活動に邁進して参りたいと思っております。町議会といたしましては、その責任の重さを常に心がけ町民の皆様のご期待に添えるよう決意を新たにいたしているところであります。

結びに、平成25年が皆様にとつて平和で実りある1年になりますことを祈念申し上げます。新年のあいさついたします。

町民の一体感を

醸成するための

統合新庁舎の建設に向けて



空きビルを 集いの場にしたい

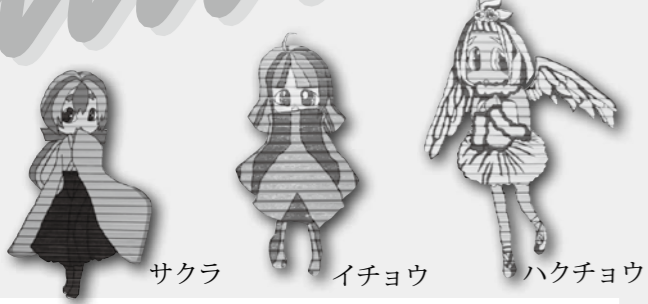
in あじゅまるビル

CASE 2 あかるい町かど プロジェクト

社会福祉法人奥入瀬会（吉田絹恵理事長）は、あかるい町かどプロジェクトを立ち上げ、本町地区の空きビルを『あじゅまるビル』と名づけ地域の人たちが集う場所にしています。開始から約1年余り、これまで様々なイベントを催し、回を重ねるごとに賑わいを増しています。

このあじゅまるビルでは、来た人が楽しめる雰囲気作りをモットーに活動する団体を支援しています。お客さんは町を歩き、あじゅまるビルで一休み。出展者と会話することで、この町の良さを再発見するきっかけになればとの思いで開放しています。また、本町商店街で販売しているものはビル内では販売しないようにし、商店の活性化を図るのも狙いです。11月21日から2日間イベントを開催した団体シードフォーシーディング。仲間呼びかけて集まった14人が、分野の垣根を越え、一つのブースで活動を展開しました。主催者の中川由美子さん（八戸市）は『この活動が商店街の活力につながるとうれしいです』と笑顔で話していました。

キャラクターのネーミングを募集



町の花「サクラ」・木「イチヨウ」・鳥「ハクチョウ」をイメージしたキャラクターです。皆さんからキャラクターの名前を募集します。愛着のあるキャラクターにいきましょう。

- 申込方法
広報12月号と一緒に各家庭に配布された専用の用紙をお使いください。（ない場合は申し込み場所に備付）
- 申し込み場所
商工会本所・支所、役場商工観光課
街なかサロンおいらせ屋
- 申込期限 1月31日☎

皆さまのご応募をお待ちしています。

町商工会 ☎ 0178-52-2029

シャッター de アート展を開催しました



町商工会は、12月14日から16日までの3日間、イオンモール下田イオンホールで、シャッターアートの軌跡と百石高校美術部員の作品を展示し、『シャッター de アート展』を開催しました。会場には、町のイメージキャラクターおいらくんも登場し、子どもたちに大人気。多くの来場者が訪れました。百石本町商店街に昔のような賑わいと元気を取り戻そうと始まったシャッターアート事業。「こんな絵を描いてほしい」「こんな商店街にしてほしい」などの希望や意見も多く出され、シャッターアート事業のスタッフたちは今後の活動に意欲を燃やしていました。

本町商店街に賑わいと 元気を取り戻したい



▲パンダがおいらせ特産のニンジン、ダイコンを食べています



▲完成した「おいらせの精」のキャラクター



▲制作中に町長らが高校生の激励に立ち寄りしました

CASE 1 シャッターアート事業

ここ十数年、全国的に商業圏の郊外化や大型ショッピングセンターの進出により、地域住民と時代を共にした昔ながらの商店街のシャッター化が広がっています。ここ百石本町商店街も例外ではありません。賑わいをみせていたピーク時から商店数は半数程度にまで減っている状況です。昔の賑わっていた本町商店街に少しでも戻ってほしい」と熱い想いを持つ町商工会員たちが、今年度シャッターアート事業を立ち上げました。

百石本町商店街の空き店舗となっていたシャッターに絵を描き、商店街の活性化につなげようと、春先に町商工会（木村雅行会長）が発案し、主体となつてこの事業を開始しました。その案に賛同した百石高校美術部の生徒たちと『ガンダム』の理容店でおなじみの鈴木敏美さん（二川目）が、空き店舗となつているシャッター2カ所に、

7月から8月にかけて描き、約1ヶ月の期間で完成しました。

国道45号沿い田畑精肉店北隣にある『パンダの絵』、藤沢ビル1階にある『女の子の絵』、どちらの絵も町に由来するものをモチーフにしています。鈴木さんが描いたパンダの絵は、上野動物園にパンダが産まれたニュースにあやかり、パンダは笹の葉を食べる動物ですが、おいらせ町特産のニンジン、ダイコンを食べさせています。一見気が付きませんが、おもしろい1枚に仕上がっています。また、アニメ調の女の子が3体描かれている絵は、町の「花・木・鳥」をモチーフとしています。高校生らしい若い感性が引き出されている1枚です。

来年度も、空き店舗に、新しい絵を描いていく予定です。その絵を観に本町商店街に足を運んでみては。精巧なシャッターアートに驚くことと思います。

こどもたちへ地元漁業を伝える

町の特産サケ・ホッキガイ 水産教室

サケとホッキガイは、町を代表する水産物です。生態やさばき方などを学ぶことにより、より身近なものとして児童たちの理解を深める良い機会となりました。



▲サケに包丁をいれる場面では児童たちの表情は様々



町は、県や百石町漁協と連携して、町内の小学生を対象に、地元漁業の理解と魚食普及のため水産教室を行いました。町を代表する水産物の、サケとホッキガイの生態や調理の仕方を専門家である県民局や産業技術センターの職員が講義。

サケの教室は、12月4日に下田小学校・木内々小学校の2校で実施しました。奥入瀬川では県内で放流しているサケの稚魚の約半数である約5千300万匹を放流しています。そのうち成長して奥入瀬川に戻ってくるサケはわずか1〜2%。川村心叶さん(下田小3年)は、「サケは長い間、海を旅して生きていることがわかりました。」

また、ホッキの教室は、12月7日、甲洋小学校4年生を対象に行いました。ホッキガイの生態や県内漁獲量の4分の1を占める百石町漁協の漁の取り組みを勉強した後、ホッキガイを児童が実際にさばき、方法を覚えさせました。川口知華さん(甲洋小4年)は「ホッキガイはいろんな大きさがあることがわかりました。貝むきは初めてでしたが、上手にできました」と話していました。実習後、児童たちは「家でやってみよう」と得意げに話していました。

この機会を通じ、児童たちが水産物をより身近なものとして理解を深めることができました。



1 当日水揚げされた生きている新鮮なホッキガイに興味津々の児童たち【甲洋小学校】2 モニターを使いホッキガイの生態について学ぶ【甲洋小学校】3 サケの生態について説明を聞き、メモを取る児童たち【下田小学校】4 ホッキガイをさばく実習ではほとんどの児童が初めての経験でした【甲洋小学校】

地域から発信し、仲間とともに作り上げています

おらんどのちゃっこい博物館 向山駅ミュージアム 1周年記念イベント

「向山駅ミュージアム1周年記念イベント」が11月18日、向山駅で開催されました。町内外から多くの鉄道ファンが訪れ、開館から1年の歩みを振り返り、この絆をさらに深めていくことを誓い合っていました。



▲向山駅に停車する電車で手を振る来場者の皆さん

このイベントは、ミュージアムを地域とともに作り上げた鉄道ファンたちと喜びを分かち合い、これからも愛される駅であってほしいと、向山町内会が主催して行ったものです。鉄道ファンにはたまらない内容が盛りだくさん。普段はミュージアムに展示している当時のアイテムを来場者たちが『鉄道工夫』や『駅長』のコスプレでなりきり記念写真を撮影できるコーナーや町内会の有志たちが作った『温かいとろろ



飯』や『ひつつみ』が振る舞われていました。また、青い森鉄道のマスコットキャラクター「モーリー」もイベントに参加。駅の構内いたるところに出没し、子どもたちには大人気でした。午後には鉄道ファンによる井戸端トークも行われ、来場した多くのファンたちは、当時の賑わいを懐かしむとともに、鉄道談義に花を咲かせていました。

親子で来場した川崎陽子さん(弘前市)は「息子が鉄道ファンで来場しました。自分の電車通学を懐かしむとともに、子どももとても喜んでいました」と笑顔で話してくれました。

『向山駅』という場所を通じて、地域の人たちだけではなく、多くの鉄道ファンたちとともに、このミュージアムを作りあげています。手作りの温かみを感じる場所です。皆さんもぜひ足を運んでみては。



1 鉄道模型の前方には小さなカメラを搭載し、映像がモニターに流れます2 鉄道模型で遊ぶこどもたち。操作盤を使ってレールの上の電車を走らせます3 青い森鉄道アテンダントとジャンケン大会を楽しむ参加者たち。勝った人には青い森鉄道グッズをプレゼント4 駅舎内のミュージアムには駅の歴史を物語る展示品であふれています

▶▶▶ Nov.24-2012

★ **チ** ■町子どもスポーツチャンバラ大会
チャンバラを夢中で楽しむ



第6回町子どもスポーツチャンバラ大会は、11月24日、町民交流センターで開かれ、幼児から小学生まで47人が参加し、熱戦を繰り広げました。

スポーツチャンバラはスポンジでできた柔らかい剣を使い、互いに打ち合うスポーツです。参加者の多くは未経験者でしたが、大会前には講習会も開かれ、基本的な動きやルールを学びました。参加者はみんな楽しみながらも真剣な表情で競技に臨んでいました。

◀対戦が始まると、参加者は真剣な表情で剣を打ち合います

▶▶▶ Nov.25-2012

★ **お** ■北のフルーツパーラー in Oirase
いらせの味覚に笑顔がほころぶ



「北のフルーツパーラー in Oirase」は11月25日、おいらせ屋で開かれ、たくさんの家族連れが参加しました。

このイベントは(社)八戸観光コンベンション協会とおいらせブランド推進協議会が主催したものです。だるま芋掘りの収穫を見学し、そのだるま芋を使って参加者たちは、「うばたま」を作りました。

参加した大関セツさん(八戸市)は「収穫の様子を見ることができ、また、地元で穫れただるま芋でのうばたま作りを教えてもらえてよかった。また参加したい」と大満足の様子でした。

◀うばたまの生地を丸めて団子状にしていく参加者

▶▶▶ Nov.29-2012

★ **優** ■木ノ下中学校保育体験
しさを持ってふれあう



木ノ下中学校(本江宏校長)3学年は、11月26・27・29日の3日間、菜の花保育園で保育体験を行いました。

この体験は家庭科の授業の一環で行っているもので、毎年、当中学校は菜の花保育園で行っています。生徒たちは、それぞれのクラスに分かれ、お遊戯やボール遊び、折り紙遊びなどを通じて、園児たちの世話を体験することが出来ました。

参加した高山咲希さん(3組)は、「最初は接し方がわからなかったけど、将来母になるための良い経験になりました」と話していました。

◀ボール遊びで園児のお世話をする生徒

▶▶▶ Nov.15-2012

★ **い** ■勤労を感謝し園児が町長を訪問
つもお仕事おつかれさまです



あゆみ保育園・百石幼稚園の両園児は、11月15日、勤労感謝の日に合わせ成田町長を訪れました。園児たちは子どもたちがデザインした花瓶に入った花束や絵入りのペン立てを町長へプレゼント。受け取った成田町長は「ありがとうございます。これからの時期みんなも健康に気をつけてくださいね」とねぎらいの言葉をかけていました。訪問した岡田里桜ちゃん(百石幼稚園、6つ)は「町長は優しい。少し緊張したけど、ちゃんと町長へプレゼントを渡せてうれしかったです」と笑顔で話していました。

◀成田町長へプレゼントを渡し、笑顔の園児たち

▶▶▶ Nov.16-2012

★ **心** ■ふるさと学習塾第5講座・閉講式
と体と財布の健康は密接に関わる



ふるさと学習塾運営委員会(小向幸祐委員長)は11月16日、タレントの生島ヒロシさんを迎え、みなくる館で『心と体と財布の健康』と題し、ふるさと学習塾第5講座を開催しました。

生島さん自身が心掛けていることである心と体と財布の健康を話し、どれかひとつ欠けても幸福とはいえない。別のテーマで考えることではなく人生を充実させるためには密接な要素だということを集まった330人以上の来場者に話していました。講演の前には、閉講式も行われ、今年度のふるさと学習塾が幕を閉じました。

◀人生を充実させる秘訣を話す生島ヒロシさん

▶▶▶ Nov.18-2012

★ **熱** ■演劇祭
のこもった演技に感動



劇団笑劇(村田昭子代表)は、11月18日、おいらせ町演劇祭を町民交流センターで開催しました。

出演したのはキンダーコール・すわん、胡蝶蘭舞、劇団笑劇の3つの町内の団体。小学生から70代までの幅広い年齢層が一堂に会し、日頃の練習の成果を披露しました。

町内外から会場を訪れた観客は、キンダーコール・すわんの澄んだ歌声に感動し、胡蝶蘭舞の躍動感あふれる演奏に歓声をあげ、劇団笑劇の演技で笑い、大きな拍手を送っていました。

◀ミュージカルを披露するキンダーコール・すわんのメンバーたち

▶▶▶ Dec.02-2012

上 ■高校生による野球教室
達へ基礎練習の大切さを学ぶ



町野球協会（大山益三^{ますみ}会長）は、12月2日、いちよう公園体育館で町内の中学生を対象にした野球教室を開催しました。

教室の指導者は町内出身の八戸工業大学第一高等学校に通う野球部員5人を招いて行い、山下繁昌^{しげかつ}総監督のもと、打撃や守備の基本や冬場の体力作りを目的とした練習を高校生がじっくり指導しました。練習に参加した山崎隼人^{はやと}くん（百石中学校2年）は、「高校生から指導を受け、しっかり練習内容を覚えられた。今後の練習に生かしたい」と目を輝かせ話していました。

◀高校生のピッチングの手本を真剣な表情で学ぶ中学生たち

▶▶▶ Dec.09-2012

ス ■ニュースポーツ体験会&スポーツ少年団交流会
スポーツ体験を通じて楽しさを学ぶ



町スポーツ少年団（小向良^{りょう}本部長）は、12月9日、農村環境改善センターで、ニュースポーツ体験会とスポーツ少年団交流会を行いました。

町スポーツ推進委員協力のもと、『大縄跳び』やエプロンのようなものを首にかけて小さなゴム製のボールを飛ばしバレーボールのように試合を行う『フリンゴ』というスポーツを行い、参加した児童と保護者たち130人は笑顔で汗を流していました。体験会終了後は、おいらせだるま芋へちよこ汁などを食べ、おかわりを競い合いながら互いの交流を図っていました。

◀フリンゴを楽しむ児童たち。熱戦が繰り広げられた

▶▶▶ Dec.13-2012

全 ■木ノ下中女子バレー部3選手が全国大会へ出場
力を尽くしてきます



木ノ下中女子バレー部の3選手（安ヶ平沙樹^{さき}さん、宮仕紗衣^{さや}さん、佐々木芳^{あき}さん）は、青森県選抜として選出され、12月25日に開幕する第26回全国都道府県対抗中学バレーボール大会への出場報告のため、12月13日、町長を訪問しました。

3選手は、県中学校バレーボール大会の優勝が大きく評価され、同大会での同校の優勝は、町勢として平成7年度優勝の下田中学校以来です。

成田町長は「持っている力を出し切ってほしい」と話し、代表して安ヶ平さんは「県代表として思いつきプレーし、決勝トーナメントに進めるように頑張りたい」と抱負を述べていました。

◀左から木ノ下中新渡戸監督、安ヶ平さん、佐々木さん、宮仕さん、町長、袴田教育長、木ノ下中本江校長

▶▶▶ Nov.29-2012

今 ■第1回庁舎整備検討委員会
後の庁舎整備について話し合う



町は、11月29日、庁舎整備検討委員会を設置し、役場本庁舎で1回目の会議を開きました。この委員会では、現在、本庁舎と分庁舎に分かれている役場庁舎の今後のあり方について話し合うものです。

会議では、最初に木村雅行^{まさゆき}町商工会長を委員長に選任し、今後の話し合いの進め方について確認しました。その後、現庁舎の現状や課題について意見を交換しました。この委員会は今年の7月まで5回にわたって話し合い、庁舎の整備方針をまとめ、町長に報告することとしています。

◀成田町長から委嘱状を受ける木村商工会長

▶▶▶ Dec.01-2012

今 ■ホッキ漁始まる
季の水揚げも順調



八戸みなと・市川・百石町・三沢市の4漁協からなる北浜海域ほっき貝資源対策協議会は、例年通り12月1日からホッキ漁の操業を開始しました。初日は百石町漁協所属の船7艘が出漁。1回の漁で採る量が決められており、1艘に5人が乗り込み、燃料費などの経費を節減するため、工夫して漁をしています。初漁を終え、第三吉丸の船長北向清吉^{せいきち}さんは、「ホッキの数や生育状況から幸先がよさそうだ」と手応えを感じていました。

今季のホッキ漁は、例年通り3月末まで行われる予定です。

◀漁具を引き上げると大量のホッキガイが網に入っていました。

▶▶▶ Dec.02-2012

地 ■平成24年度町青少年育成町民大会
域で守ろう、育てよう。青少年



町青少年育成町民会議（工藤志郎^{しろう}会長）は、12月2日、みなくる館で今年度の町青少年育成町民大会を開催しました。この大会は児童・生徒に対し健全な環境を家庭や地域で構築していくために開催しているもの。今年度の『家庭の日標語』の表彰や9月に開催した三沢地区少年防犯弁論大会出場者の発表などが行われました。

記念講演では、八戸西高等学校教諭の伊調千春^{ちはる}さんが『今日という日は二度と来ない』と題し、後悔しない生き方や家族や仲間大切さを伝え、会場からは大きな拍手が送られていました。

◀多くの来場者に拍手を送られる表彰者（中央）

2月12日（火）から平成24年分の所得申告受付が始まります

※申告受付日程表

月	日	申告を受け付けする地域
2月	12	根岸、黒坂、住吉町、曙、奥入瀬団地、芦野団地
	13	堀切川、川口、三田、三田団地、染屋
	14	明神下、横道、青葉
	15	洋光台、緑ヶ丘
	18	一川目一丁目、中野平、苗振谷地、向坂
	19	一川目二～三丁目、若葉
	20	一川目四丁目、三本木、鍋久保
	21	深沢、三本木、新敷
	22	日ヶ久保、間木、木崎
	25	二川目一～二丁目、本村
3月	26	二川目三丁目、鶴久保
	27	二川目四丁目、向山
	28	藤ヶ森（下屋敷）、豊原、錦ヶ丘
	1	藤ヶ森（後田、下明堂、新助川原）、木ノ下、苫米地
	3	町内全地区
	4	藤ヶ森（牛込平、苗平谷地）、木ノ下、苫米地
	5	本町一～五丁目、八幡町、中央町、秋堂
	6	本町六丁目、下前田、洗平、豊栄
	7	肴町、大工町、阿光坊
	8	七軒町、新町、木内々、有楽町
	11	上新町、木内々、有楽町
	12	町内全地区
	13	町内全地区
	14	町内全地区
	15	町内全地区

*日曜日は大変な混雑が予想されます。できるだけお住まいの地区の受付日に会場へお越しください。

確定申告は所得税だけでなく、平成25年度分の町県民税（住民税）や国民健康保険税などの課税、保育料の算定資料になります。平成24年中の収入がなくても住民税の申告は必要です。

受付期間を過ぎると、役場では所得税の確定申告書の作成はできなくなります。その場合は十和田税務署などへ直接申告してください。

税務課 ☎ 0178 56 4704
十和田税務署 ☎ 0176 23 3151

◎会場 本庁舎 201 会議室

◎時間
午前の部：9時～11時30分
※受け付けは8時から行います
午後の部：13時～16時

1 申告が必要な人は次のとおりです

平成25年1月1日現在でおいらせ町に住所がある人が対象です。24年中の収入がなくても住民税申告は必要です。次の①～⑤に当てはまる人は注意してください。

- ① 年末調整を受けられなかった人（中途退職などを含む）
- ② 2カ所以上から給与所得があり、合算して年末調整を受けていない人

- ③ 平成24年中に住宅を建てた人で、「住宅借入金等特別控除」を受けられる人
- ④ 年末調整を受けたが「給与所得者の住宅借入金等特別控除申告書」を職場に提出しなかった人や「医療費控除」「寄附金控除」を受けられる人
- ⑤ 事業所得者で予定納税をした人
* ▶青色申告の人 ▶土地、株式の譲渡所得や先物取引による所得がある人で相談内容が複雑な人

は受け付けできません。税務署で申告してください。

2 申告が不要な人

- ① 税務署で確定申告した人
- ② 給与所得（2カ所以上給与所得がある場合は合算）の年末調整を受け、職場から町へ給与支払報告書が提出された人

3 申告に必要なもの

① 所得が計算できるもの

□ 給与所得者、年金所得者
源泉徴収票の原本（複数ある場合は全て）

□ 事業・不動産所得者
収支内訳書、収入金額と必要経費が分かる帳簿、領収書など

□ 農業所得者
収支内訳書、収入金額と必要経費が分かる帳簿、出荷証明書や領収書など

※ 源泉徴収票が全て提出されないと確定申告書を作成できない場合があります。また、収支内訳書の提出の際に事前に作成されていない場合は待合室で作成していただいたうえで申告を受け付けします。

② 所得控除を計算できるもの

- 医療費の領収書、明細書（受診者ごとに集計されていない場合は待合室で作成していただいたうえで申告を受け付けします。）
- 生命保険や損害保険（地震保険）の控除証明書
- 社会保険料（国民健康保険税、介護保険料、国民年金保険料など）の領収書や証明書など支払金額が分かるもの
- 障害者手帳（障害者控除該当者）
- 障害者控除対象者認定書（要介護認定者は介護福祉課に申請が必要です）
- 住宅借入金等特別控除申告に必要なもの（詳しいことは問い合わせ

せてください）

● ふるさと納税など寄附金の領収書（寄附証明書）

③ 本人の印鑑（朱肉を使うもの）

④ 本人名義の預金通帳（還付申告の際に必要になります。）

⑤ 確定申告書（税務署から確定申告書が郵送された人に限ります）

4 代理申告のときは事前に確認が必要

本人に代わって家族などが申告する場合、本人の「申告に必要なもの」を準備した上、次のことをあらかじめ確認してください。

- ① 勤務先の名称、所在地、電話番号や仕事の内容など
- ② 扶養家族がいる場合、その人の氏名や生年月日、住所など

5 申告には振替納税がオススメ

所得税の納付には、預金口座から自動的に引き落としになる「振替納税」が便利です。手続きには▶預金口座の金融機関名と支店名と口座番号▶通帳に使っている印鑑が必要です。

6 申告しないとどうなるか

① 所得税 納めすぎた所得税が還付されません。また、追加で納付が発生する場合、不申告加算や延滞金が追加されることがあります。

② 町県民税 医療費や寄付控除を受ける場合、申告しなければ控除されないので、その結果税金が高くなります。

③ 国民健康保険税・後期高齢者医療保険料 未申告の人が世帯にいる場合、軽減措置が適用できず高く算定される場合があります。加入者は特にご注意ください。

④ 保育料 最高額で算定されることがあります。

⑤ 国民年金 免除申請ができません。

⑥ 所得証明・課税証明 各種減免手続きや扶養届などで提出を求められる書類のことです。交付することができません。

※このほか、各種給付サービスにも影響が出る場合があります。

7 確定申告はe-TAXが便利です

e-TAXは、税務署に出向することなく、自宅やオフィスから、インターネットで申告や納税などの手続きができるシステムです。ぜひご利用ください。

申告は忘れずに行いましょう



募集します

町奨学金奨学生を募集します

● 対象 △1年以上町内に住む人の子弟▽学業に優れ勉強意欲のある人▽過去3年分の町税を滞納していない人

● 貸与月額限度と人数(予定)
 ① 大学・大学院 / 4万円以内 / 10人以内
 ② 高専・短大・専門学校 / 3万円以内 / 6人以内
 ③ 高校 / 1万5千円以内 / 2人以内

● 償還期間 卒業月の1年後から貸与期間2倍の期間内に全額(無利子)を償還してください。

● 受付期間 3月4日(日)～29日(金) (土日祝日除く)

● 必要書類
 ① 申込書(学務課備え付け)
 ② はんこ(本人と連帯保証人(保護者))
 ③ 成績証明書 △大学・大学院・短大・専門学校 / 高校の3年分▽高専・高校 / 中学校3年分

募集します

教育奨励賞候補者を募集します

● 対象大会 都道府県以上の教育委員会、官公庁等の公的機関が主催、共催、後援する大会及びコンクール等(民間団体等の主催大会及びコンクール等については、その趣旨及び規模等をみて対象にする場合もあります。)

● 表彰の基準
 ① 県大会規模の催しで、優勝または最高賞を受賞した人
 ② 東北大会以上の催しで、

● 提出書類
 ① 町指定の申込書(本庁舎総務課、分庁舎分庁舎サード課、北部出張所、町ホームページから入手可)
 ② 面接カード
 ③ 資格証明書の写し(保健師や看護師など資格が必要な職種の場合)
 ④ 障害者手帳の写し(障がいのある方)

● 書類提出先 総務課
 ● 応募期限 1月25日(金)まで (土日祝日除く)

● 選考方法 申込書などによる書類審査と面接試験で選考します。試験日の日程は後日通知します。

教育懇談会 『語ろう、子どもの教育 in おいらせ 24』を開催します

子どもたちの将来は本当に大丈夫なのだろうか？ 今日複雑多様化した社会のなかで、子どもたちにはどんな「生きる力」が必要なのだろうか？ 今年度は、大きな社会問題といえる「いじめ」をテーマに語り合います。

今、あらためて、子どもたちの将来を、子どもたちの望ましい育みを、学校・家庭・地域の人々で一緒に考え、語ってみませんか？



- 日時 1月26日(土) 13時30分～16時10分
- 会場 町民交流センター 小ホール
- テーマ 「いじめ」しない、させない、ゆるさない ～子どもたちの「生きる力」を育てるために、学校・家庭・地域ができることは～
- 参加対象者 おいらせ町民及びテーマに関心のある方
- 日程 13時 受付
13時30分 主催者挨拶 話題提供
14時 グループ語り合い
15時30分 全体会(グループ発表・質疑)
- 主催 町教育委員会
- 参加申込み 1月15日(木)までに町教育委員会学務課指導室に電話またはFAXでお申込みください。

学務課指導室 ☎ 0178 56 4258 FAX0178 56 4268

3位以内及びそれに相当する上位賞に入賞した人 ※大会規模などにより該当にならない場合があります。

● 推薦者 各団体、保護者等、どなたでも結構です。

● 対象期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日

● 申込期間 平成25年1月10日～平成25年1月31日 (申込期間終了後に成績が判明したものは随時受け付けます。)

街灯の日中点灯をみかけたら・・・

平成19年度から22年度にかけて下田地区に整備した街灯の自動点滅器の不具合により、日中点灯の街灯があり消費電力の節電のおり、住民の皆様にご心配をおかけしております。しかしながら、自動点滅器の不具合につきましては、メーカー保障での対応となっており、メーカーからの部品到着後に町内の電気店での補修となっております。また、ある程度集中的に補修をする関係で発見から補修完了までに相当の時間がかかることもあります。



なお、このことにより、一部の町内会に対し、修理の期間を提示できず、連絡ができなかったこともありましたので、本紙面をお借りして、おわび申し上げます。

企画課 ☎ 0178 56 4701

臨時職員を募集します

町期限付臨時職員を募集します

● 応募資格など
 原則として、おいらせ町民が対象です。
 任用期間は平成25年4月2日から9月30日まで。ただし26年3月までの期間、任用を更新することがあります。

● 障がい者枠採用
 町では障がいのある方も募集しています。「自力で通勤できる」「介助なしで仕事ができる」といった条件を満たせば応募することができます。



総務課 ☎ 0178 56 2166

募集職種や人数など

職種	予定人数	必要な資格	勤務予定場所
一般事務	25人程度	高校以上の学校を卒業した人*	役場、図書館、大山将棋記念館、みなくる館、おいらせ病院、児童館など
保健師	若干名	保健師の資格を持つ人	環境保健課
看護師・准看護師	15人程度	看護師・准看護師の資格を持つ人	おいらせ病院、訪問看護ステーション、環境保健課
介護支援専門員	若干名	介護支援専門員の資格を持つ人	地域包括支援センター
介護認定調査員	若干名	介護支援専門員または社会福祉主事任用資格を持つ人	介護福祉課
薬剤師	1人	薬剤師の資格を持つ人	おいらせ病院
理学療法士	1人	理学療法士の資格を持つ人	おいらせ病院

*児童館、児童センターで勤務を希望する人は▷幼稚園・小・中学校教員免許▷保育士資格▷児童福祉事業2年以上の経験のいずれかを持つ人が採用の条件です。

短期・短時間勤務臨時職員の登録を募集

この登録は短期または短時間の勤務が必要なおき、限られた期間だけ採用する臨時職員の登録です。
 勤務時間は1日単位または時間単位です。登録者が多い場合は採用に至らない場合があります。

- 応募資格
 ① 一般事務▽高校以上の学校を卒業した人
 ② その他▽看護師、栄養士などの資格を持つ人
- 応募期限 2月28日(土) (土日祝日除く)
- 提出書類
 ① 町指定の申込書(本庁舎総務課、分庁舎分庁舎サード課、北部出張所、町ホームページから入手可)
 ② 資格証明書の写し(有資格者の場合)
- 登録の有効期間 平成25年4月1日～26年3月31日
- 書類提出先 総務課

国民年金マン

学生納付特例だネンの巻



作/Yuichi.T 画/Ryo.O

国民年金は、日本国内に住んでいる20歳以上60歳未満の人が加入することになっています。

収入などがなく保険料の支払いが困難な場合は、申請することで納付が猶予される制度があります。

①「学生納付特例制度」... 学生で本人の前年所得が118万円以下の場合

②「若年者納付猶予制度」... 学生でない30歳未満の人で本人と配偶者の所得が一定額以下の場合

どちらの制度も、承認された期間については年金を受給するために必要な期間には算定されますが、受給することになる年金額には反映されません。将来、収入を得られるようになったら、追納制度を利用されることをお勧めします。

ねんきんダイヤル ☎ 0570-05-1165

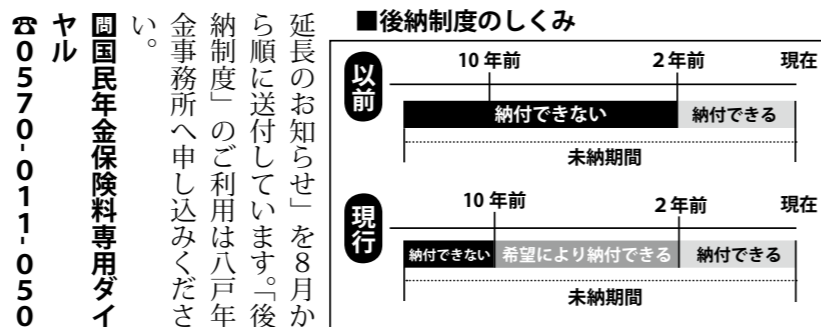
日本年金機構八戸年金事務所 ☎ 0178 ㊟ 1742
町民課 ☎ 0178 ㊟ 2246

- **4月からの児童館利用希望者の申請受け付け**
- **受付期間** 2月1日(金)～22日(金)、9時15分～17時(休館日除く)
- **申請方法** 入館申請書(各館で入手可)を各館に提出してください。
- **母親クラブ** 各館の行事とともに、母親クラブの行事も実施します。入館児童の保護者は母親クラブに加入してください。
- **問い合わせ**
 - ① 向山児童館 ☎ 0178 ㊟ 2327
 - ② 木ノ下児童館 ☎ 0178 ㊟ 3442

- **陸海空自衛官候補生の追加募集(24年度)**
- **自衛官候補生(任期制)**
 - 応募資格 25年4月1日現在、18歳以上27歳未満の男性
 - 受付締切 1月25日(金)
 - 試験 2月8日(金)、9日(土) 場所/陸自八戸駐屯地 陸自青森駐屯地
- **自衛隊青森地方協力本部 三沢募集案内所** ☎ 0176 ㊟ 1346
- **北部児童センター** ☎ 0176 ㊟ 7080
- **南部児童センター** ☎ 0178 ㊟ 2743

国民年金 国民年金保険料「後納制度」があります

年金制度が改正され、過去10年以内に国民年金保険料の納め忘れの期間がある人は、24年10月から平成27年9月の3年間に限り、これまでは2年前まで遡ってに納付できましたが、10年前までに延長されました。「後納制度」を活用し、2年以上前の保険料を納めることで、将来受け取る年金が増額します。また、納付月が少ない人も受給する資格を得られる可能性があります。対象者には「国民年金保険料の納付可能期間



ねんきんネットが便利です

年金加入記録の照会、年金見込額の試算、電子版「ねんきん定期便」など、年金に関する便利なサービスをご利用できます。

ご利用にはユーザIDの取得が必要です。詳しくは日本年金機構ホームページへ

http://www.nenkin.go.jp/n/www/n_net/index.jsp

日本年金機構

あなたの年金をカンタン確認
ねんきんネット
年金に関する便利なサービスをご利用いただけます。

- 年金記録の確認・検索
- 年金見込額の試算
- 各種通知書の確認

ねんきんダイヤル ☎ 0570-011-050
☎ 03-6731-2015

- **入所要件** 小学校入学期前の児童で、保護者が仕事や病気などのために家庭で保育できない人
- **受付期間** 1月11日(金)～27日(金)9時～16時、土日除く
- **受付場所**
 - ① 町民課
 - ② 分庁サービス課
 - ③ 町内各保育所
- * 町外保育所への「広域入所」を希望する人は、町民課または分庁サービス課で手続きしてください。
- **手続きに必要なもの**
 - ① 申請書類一式(各受付場所でも入手可)
 - ② 印鑑(認め印)
 - ③ 保護者(両方)の平成24年分源泉徴収票の写し
 - * 所得税確定申告が必要な人は、申告書の写しも提出してください。町役場内で申請書を申告後に写しを提出してください。

- **場合により必要なもの**
 - ① 産前産後/母子健康手帳「氏名と分娩予定日」掲載ページの写し
 - ② 障害のある人/障害者手帳「障害名と等級」掲載ページの写し
 - ③ 自営業や農業者など/民生委員からの証明(申請書類の家庭状況調査に証明欄があります)
 - ④ 求職中の人/職業安定所で発行する求職受付票(ハローワークカード)の写し
- **各種様式** 町ホームページからダウンロードできます(くらしのガイド↓福祉↓保育園↓申請書ダウンロード)
- **問い合わせ** 町民課または町内各保育所(下参照)

書類の家庭状況調査に証明欄があります

● **国民年金保険料「後納制度」**があります

★町内保育所 (全13施設)

保育所名	定員	電話番号
いちよう学園	30人	☎ 0178 ㊟ 6601
三田保育園	70人	☎ 0178 ㊟ 2008
二川目保育園	50人	☎ 0178 ㊟ 2041
一川目保育園	50人	☎ 0178 ㊟ 3864
あゆみ保育園	70人	☎ 0178 ㊟ 2206
深沢保育園	30人	☎ 0178 ㊟ 3756
川口保育園	50人	☎ 0178 ㊟ 4133
おおぞら保育園	100人	☎ 0178 ㊟ 4015
錦ヶ丘保育園	60人	☎ 0178 ㊟ 4051
菜の花保育園	130人	☎ 0176 ㊟ 8670
下田保育園	40人	☎ 0178 ㊟ 2254
本村保育園	40人	☎ 0178 ㊟ 2532
もりのか保育園	70人	☎ 0176 ㊟ 1147

▲定員は変更になる場合があります。

子育て

4月からの保育所入所申請を受け付けします

町民課 ☎ 0178 ㊟ 2246



場所	日時	行事内容	
三田保育園 ☎ 0178 56-2008	17㊟10:00～11:30	スクラップブッククラブ ちよき・ぺた	
	23㊟10:00～11:30	親子クラブ(節分製作)	
	24㊟10:00～11:30	よちよちひろば(手作りおもちゃ)	
	28㊟10:00～12:00	ハンドメイドクラブ(デコミラー)	
	29㊟10:00～12:00	体験保育(0歳クラス)	
	30㊟10:00～12:00	体験保育(1歳クラス)	
	31㊟10:00～12:00	体験保育(2歳クラス)	
	18㊟、25㊟	たんぼぼクラブ	
	10:00～12:00		
			*詳しい内容は「たんぼぼつうしん」をご覧ください
菜の花保育園 ☎ 0176 53-8670	10㊟、24㊟	フラワーサークル(シュシュ作り 他)	
	10:00～11:30		
	11㊟11:00～11:30	イオンお楽しみ広場	
	12㊟10:00～11:30	アンパンマンサークル(パペット作り)	
	12㊟、19㊟	カントリーダンスサークル	
	13:00～14:00		
	15㊟、29㊟	駒・羽子板作り(北部児童センター)	
	10:30～11:15		
	19㊟、26㊟	保育体験、離乳食教室	
	10:00～11:30		
あゆみ保育園 ☎ 0178 52-2206	19㊟14:00～15:30	わくわくサークル(カレンダー作り)	
	25㊟10:30～11:15	けん玉作り(るるんサークル木/下児童館)	
	26㊟14:00～15:30	クックサークル(かぼちゃクッキー作り)	
			*詳しい内容は「わくわくつうしん」をご覧ください
	7㊟10:00～11:30	ファミリーサロン	
	8㊟10:00～12:20	もちつき会(藤ヶ森生活館)	
	10㊟10:00～11:50	おしゃべりサロン(あじゅまるビル)	
	11㊟11:00～11:30	おたのしみ広場(イオン下田 西コート)	
	15㊟10:00～11:50	親子ヨガ(あゆみの里)	
	17㊟ 9:50～11:50	おいらせクロバ	
18㊟10:30～11:30	マタニティほんわかルーム「アロマでリフレッシュ」		
21㊟10:00～11:30	まんまるサークル(英語で遊ぼう)(北公民館)		
22㊟10:00～12:20	親子でお料理(いきいき館)		
24㊟10:00～11:50	はんど&はあと		
29㊟10:30～11:30	ほんわかルーム(病気についてのプチ講座あり)		
31㊟10:00～11:50	豆まき		
		*詳しい内容は「きらら通信」をご覧ください	

医療

ジェネリック医薬品利用差額通知を開始


環境保健課 ☎ 0178 56 4218

ジェネリック医薬品とは 新薬（先発医薬品）の特許が切れた後に、別のメーカーが同じ有効成分でつくる後発医薬品のことです。開発費用がかかっていないので価格が安く、お薬代の負担軽減につながります。

ジェネリック医薬品利用差額通知 現在定期的に服用しているお薬をジェネリック医薬品へ切り替えた場合、どのくらい安くなるかをお知らせします。

1月と9月の年2回、対象となる人に通知はがきを送ります。お知らせする額はあくまで目安ですので詳細は医師、薬剤師にご確認ください。

●通知対象者 35歳以上の国保被保険者で、生活習慣病や慢性



入札

25・26年度入札参加資格審査申請の受け付け

図財政課 ☎ 0178 56 4273

●受付期間 2月1日(金)～28日(木) (土日祝日除く) 8時15分～17時

●有効期間 25年7月1日～27年6月30日の2年間

●提出書類 町ホームページの「入札・契約情報」をご確認ください。

●提出先 財政課

●提出方法 持参または郵送

※その他の病気の人や通知対象とならない人でも切り替えをお申し出いただくことで、お薬代が安くなる場合がありますので、医師、薬剤師にご相談ください。

疾患などにより、指定薬剤を長期服用しており、切り替えによりお薬代が安くなる可能性のある人が対象です。すでに切り替え済みの人や切り替えても大きな差額が発生しない人は対象となりません。

健康

健康運動講座を開催します


環境保健課 ☎ 0178 56 4218

簡単にできるゆつくりストレッチとスロー筋トレを試してみませんか。動きやすい服装で内履きと飲み物を持参ください。

■場所 東公民館

□昼の部 13時半～15時
1月22日(火)、2月5日(火)、19日(火)、3月5日(火) 全4回
講師・インストラクター 山本直子先生

□夜の部 18時～19時半



健康

地産地消で健康づくり

環境保健課 ☎ 0178 56 4218

地元でとれた身近な野菜などを使って、おいしくヘルシーな食事を作りませんか。この機会に家庭の食事に取り入れてみましょう。

■場所 いきいき館調理室

■内容 調理実習と保健師・栄養士による講話

□日時 2月1日(金) 9時半～12時半

○内容 だるま芋を使った料理

○講師 柏崎幸子さん


○2月21日(木) 9時半～12時半

○内容 「地元の野菜をおいしく食べよう」

○講師 町栄養士

■持ち物 エプロン、三角巾、材料費300円

■申込締切 1月25日(金)



ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。ペットボトルのキャップやラベルははずしてください

町内会	有楽町/阿光坊/本村/新敷 錦ヶ丘/洗平	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘 鶉久保/木ノ下/豊栄/豊原 向山/苦米地/洋光台/根岸 黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙/ 木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平/ 苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ団 地/藤ヶ森/いちよう団地/堀切川/ 川口/明神下/横道/日ヶ久保
燃えるごみ	毎週月・木曜日	3日から収集開始	毎週火・金曜日 4日から収集開始
燃えないごみ	1月25日(金)	1月29日(火)	1月28日(月)
資源ごみ	缶・プラスチック 1月9日(水) プラスチック 1月23日(水)	紙 1月16日(水) びん 1月30日(水)	
粗大ごみ	1月11日(金)・25日(金) ★有料予約制/1週間前までに申込みが必要です		

12月31日から1月2日までを除き祝日も収集します 図環境保健課 ☎ 0178 56 4218

1月の納税相談日

納め忘れの防止、手間のかからない口座振替が便利です

日程	会場
15日(火) 本庁舎(税務課)	
8日(火) 分庁舎	
22日(火) (分庁サービス課)	
6日(日) 本庁舎(税務課)	

夜間納税相談 [17:00-20:00]


休日納税相談 [8:30-17:00]

日中お仕事などで税金の納付や相談が困難な皆さんを対象に、夜間と休日に納税相談日を設けております。

開設時間内であれば各種税金を納めることもできます。お気軽にご利用ください。

1月31日は▶国民健康保険税7期▶介護保険料7期▶後期高齢者医療保険料7期の納付期限です。忘れずに納めましょう。

*高齢者や障がい者など、体が不自由な方で、どうしても金融機関や役場窓口などで税金を納められない方へは自宅訪問します。



税金 Information

図税務課 ☎ 0178 56 4704

十和田税務署からのおしらせ

▶▶▶東日本大震災被災者への税務相談

東日本大震災により被害を受け、①前年に雑損控除などの申告を行ったが、繰り越した損失がある②平成24年に入ってから修繕費用などの災害関連支出が発生した。などにより減税の申告相談をしたい人は、税務署が混雑する前の2月8日(金)までに相談してください。

詳しい内容は税務署に問い合わせてください。

▶▶▶納税は期限内に

申告所得税、法人税、消費税及び地方消費税など申告納税制度による国税は、申告期限までに自主的に申告・納付することになっています。期限より遅れた場合は加算税・延滞税が課されることがあります。

納付方法には便利で安心な振替納税やダイレクト納付などがあります。詳しくはお問い合わせください。

▶▶▶年金所得者のための e-Tax (パソコン申告) 体験会開催

【日時】 2月1日(金)～2月8日(金) 9時30分～16時(土・日曜日を除く)

【場所】 十和田税務署(十和田奥入瀬合同庁舎1階)

【持ち物】

- 平成24年分の給与や公的年金などの源泉徴収票。それ以外の収入がある場合には支払調書などの収入金額が分かる書類
- 国民健康保険税、介護保険料、国民年金保険および社会保険料の領収証など、社会保険料控除の金額(平成24年中の掛け金額)が分かる書類
- 生命保険料控除証明書、地震保険料控除証明書、そのほか、寄付金や医療費のある方はそれらの領収証など所得控除額が分かる書類
*医療費の金額は事前に集計しておいてください。
- 金融機関の預貯金の口座番号が分かるもの(申告者本人の名義の口座に限りです。)

送とします。郵送は、2月28日までの消印有効です。(宅配便は配達依頼日まで)書類の不足や記載不備がある場合、修正されない限り受理できませんのでご注意ください。

1月15日(火)、30日(水)、2月12日(火)、27日(水) 全4回
講師・健康運動指導士 加藤智子先生

■申込締切 1月11日(金)

図十和田税務署個人課税第一部門 ☎ 0176-23-3151
*音声案内で「2」を選択してください

不動産取得税と軽減制度

1 不動産取得税とは

不動産取得税とは、家屋を新築・増改築したとき、土地や家屋を売買・交換・贈与などで取得したときに一度だけ課税される県の税金です。取得した人に納税通知書が送付されますので納期限までに納付してください。

計算方法は、原則として不動産を取得した時の市町村の固定資産課税台帳に登録されている価格に次の税率をかけた額です。

不動産取得の時期	土地	家屋	
		住宅	住宅以外
平成20年4月1日～平成27年3月31日	3%	3%	4%

2 軽減制度のご案内

①土地を取得して住宅を新築したり、建売住宅とその敷地を購入した場合、②自己居住用中古住宅を取得した場合、③公共事業のために不動産を譲り渡し、それに代わる不動産を一定期間内に取得した場合、④東日本大震災により被災した家屋に代わる家屋などを取得した場合には軽減制度を受けられることがあります。

詳しくは、地域県民局県税部までお問い合わせください。

図上北地域県民局 県税部 課税課 ☎ 0176-22-8111 内線 210、209

Hachinohe Enburi bus tour

八戸えんぶり一斉摺り見学バスツアー

八戸えんぶり一斉摺りは2月17日に開催されます。百石えんぶり組が参加しますので、見学バスツアーを行います。見学者を募集します。参加費は無料です。皆で応援に行きませんか。

申込期限 2月8日(金)
電話で申し込みください。

■バス配車日程

- 9時/役場本庁舎 出発
- 9時15分/役場分庁舎 出発
- 10時40分/八戸えんぶり一斉摺り見学
- 11時40分/八戸市庁前 集合・出発
- 12時10分/役場分庁舎 着
- 12時25分/役場本庁舎 着

国指定文化財講座

町には2つの国指定文化財があり、その魅力を探ります。

申込期限 2月1日(金)
電話で申し込みください。

第1講座 阿光坊古墳群の魅力
2月7日(土) 13時30分～15時
分庁舎401会議室

第2講座 百石えんぶりの魅力
2月14日(土) 13時30分～15時
分庁舎401会議室

講師は生涯学習課職員です。

生涯学習課 ☎ 0178 56 4276

COURSE

公民館講座

楽しみながらスキルアップできる講座です。申し込みは町民を優先します。

Course 1 長沖みのりさんが教える **ベビーヨーガ講座** ▶▶▶ 東公民館

2月5日、12日、19日、26日、3月5日(土、全5回)
9時半～11時半
定員●2～6ヶ月程度の赤ちゃんとお母さんの親子先着10組
教材費●100円(ヨガマット持参者は無料です)
必要な物●ヨガマット、バスタオル、フェイスタオル、飲み物、赤ちゃんお気に入りのおもちゃ、オムツ交換に必要なものを持ち帰り用ゴミ袋

申込期限●1月23日(土)まで

※予防接種実施後2日間問題なく経過していること、当日の体温が平熱であることが受講の条件です。

生涯学習課 ☎ 0178 56 4276

図書館/新着図書

Oirase new-book's information

図書館おすすめの本を紹介します。

一般書

ツナグ 辻村深月 著
突然死したアイドルが心の支えだったOL、年老いた母に癌告知出来なかった息子…。使者(ツナグ)の仲介のもと再会した生者と死者。一夜の邂逅は、何をもたらすのだろうか。2012年10月公開映画の原作。

一般書

魔法使いは完全犯罪の夢を見るか? 東川篤哉 著
傍若無人のキャリア系女子・椿木綾乃警部と、キレ者か変態かわからない小山田聡介の前に、魔法使い少女が現れた。愉快的掛け合いと、魅力的な謎が詰まった中篇集。

一般書

ラブ♥リプレイ 喜多喜久 著
片思いの同級生の死に直面した東大生・奈海は、突如現れた謎の男から過去に戻る機会を与えられることになる。だが、開発中の惚れ薬も絡み、事態はさらに複雑に。チャンスは10回。奈海は愛する人を救えるか!?

ほかにも新着を取りそろえています

オスプレイとは何か(石川巖) / 山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いてみた(山中伸弥) / ノエル(道尾秀介) / ひらいて(綿矢りさ) / 途中の一步(栗井脩介) / 傷だらけの果実(新堂冬樹) / さようなら、猫(井上荒野) / 犬とハモニカ(江國香織) / 新幹線お掃除の天使たち(遠藤功) / 督促OL修行日記(榎本まみ) / 認知症ベストアンサー(高橋智) / 食で日本の孫育て虎の巻(小泉武夫) ほか

★図書館のホームページで本の検索予約ができます。詳しくは、下記アドレス・図書館へお問い合わせください。
<http://www.lib-oirase-aomori.jp/>

図書館の行事

Oirase-library event information

■本展示

- 一般 「何をしても体が資本」ダイエット本や、自宅でできるストレッチの本、健康づくりの本。
- 児童 「巳(へび)の本」今年の干支にちなんで、へびをテーマにした絵本やよみもの。

■読み聞かせ会
(図書館あそぼっと) MOMO おはなしの会
1月12日(土)、26日(土) 10時から
(北公民館) おはなし会杉の子
1月19日(土) 10時から 10時半まで

■幼児のための読み聞かせ(図書館あそぼっと)
1月24日(土) 10時半から

■1月の休館日 1(火)～3日(水)、7日(日)、15日(火)、21日(日)、28日(日)

町立図書館 ☎ 0178 52 3900

相談窓口

各種相談窓口を開設
まずは悩みを相談して

町民相談
日時 1月9日(土) 10時～15時
場所 中央公民館
相談員 柏崎良子

行政相談
日時 1月23日(土) 10時～15時
場所 中央公民館
相談員 徳永幸雄
☎ 0178 56 3850

**町民を対象に
心配ごと相談を開催**
日時 1月9日(土) 10時～12時
場所 いきいき館 談話室
町社会福祉協議会
☎ 0178 52 7066

法テラスでは民事法律扶助を行っています
法律の専門家・弁護士が
▼離婚▼相続▼金銭トラブル▼損害賠償などの民事問題解決に向けた相談を受け付けます。電話などでの事前申し込みが必要です。一定の所得に満たない人は無料になる場合があります。詳しくは問い合わせください。

法テラス青森
☎ 050 3383 5552

県弁護士会では法律相談を行っています
青森県弁護士会では定期的に相談会を行っています。ご活用ください。

開催日 毎週(土)13時半～
場所 十和田商工会館
※事前予約が必要です。一定の所得に満たない人は無料になる場合があります。詳しくは問い合わせください。

青森県弁護士会
☎ 017 777 7285

Oirase's Fire-Splitts

町消防団出初式は6日開催

消防団の勇壮な行進をご覧ください。当日は会場周辺を一時交通規制します。

日時 1月6日(日) 観閲/10時
分列行進/10時20分

場所 本庁舎周辺
*行進終了後、10時50分から交流センターで式典を開きます。

問い合わせ 総務課防災安全推進室
☎ 0178 56 2131

元気を支える整体効果
開業11年 痛くないです

くまの整体

骨盤・首・背中・腰・ゆがみ矯正します

料金 40分 2000円から 出張料 500円から
受付時間 9:00-18:00 (予約制) 時間がない、遠くて行けない 休み 不定休 出張サービスします

国道338号線浜通り 一川目保育所隣り 駐車場あります
おいらせ町一川目二丁目65-381
☎ 0178-52-4189 留守の時は携帯電話にお願いします。
携帯 090-3759-2809 整体師 熊野則男

くまの整体ホームページ ◀ <http://www.ragc.co.jp/kumano/> ▶ 検索 ▶

※有料広告です

おいらせアーカイブス File_60

紡錘車

文/文化財保護審議会委員 戸賀澤幸子

町内の古代遺跡からは、直径四センチ、厚さ一センチ位の円盤状の土製品が出土します。これは紡錘車と呼ばれ、糸をつぐむ道具です。円盤の中央に六ミリ程の穴があり、その中に鉄製(あるいは木製の釣棒(錘))を取り付け、それを回転させることにより、糸に撚りをかけたり、糸を巻き取る働きをします。糸を巻き取らせて使う道具なので車といわれます。

例えば麻の場合、まずひざの上であまく撚りをかけ、錘に掛けます。その糸を片方の手で持ちながら錘の先に導き、もう片方の手は手代(回転をかける道具)を持ち、台に押しつけるようにして回転させます。その速い回転によって糸に撚りがかかります。細い繊維でもしっかりと撚ったものは強い糸になり、それを当時の人々は布として織り使用したのと思われま

このやり方で糸をやや太くすれば魚網となったでしょうし、さらに太く撚り合わせ縄としたものでしょう。

お知らせ 健康カレンダー

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 (火)				
2 (水)				
3 (木)				
4 (金)	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
5 (土)				
6 (日)				
7 (月)	健口栄養講座	9:30-13:00	いきいき館	お口の健康に関心がある65歳以上の人
8 (火)	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、保健師の健康相談
9 (水)	認知症予防教室 愛の献血	9:30-12:00 10:00-16:00	北公民館 役場本庁舎	
10 (木)	転倒予防教室 転倒予防自主トレーニング	9:30-12:00 10:00-11:30	のびのび館 老人福祉センター	理学療法士の運動指導
11 (金)	リハビリ健康相談 認知症予防教室	9:30-11:00 9:30-13:00	いきいき館 豊栄ふれあい館	理学療法士のリハビリ指導、相談
12 (土)				
13 (日)				
14 (月)	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
15 (火)	1歳6カ月健康診査 健康運動講座 転倒予防教室	受け付け/ 12:30-12:45 18:00-19:30 9:30-12:00	いきいき館 東公民館 北公民館	対象*平成22年6月生まれの子ども 申し込みは環境保健課へ 理学療法士の運動指導
16 (水)	2~3カ月児健康相談 乳幼児健康相談	受け付け/ 10:00-10:30 受け付け/ 13:00-13:30	いきいき館 いきいき館	対象*平成24年10月生まれの子ども 月齢は問いません
17 (木)	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
18 (金)	認知症予防教室 リハビリ健康相談	9:30-12:00 9:30-11:00	老人福祉センター いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、相談
19 (土)	愛の献血	10:00-16:00	イオンモール下田	
20 (日)				
21 (月)	健口栄養講座	9:30-13:00	いきいき館	お口の健康に関心がある65歳以上の人
22 (火)	リハビリ健康相談 健康運動講座	9:30-11:00 10:00-11:30	いきいき館 東公民館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談 申し込みは環境保健課へ
23 (水)	健口栄養講座 9~10カ月児健康相談	9:30-13:00 受け付け/ 10:00-10:30	北公民館 いきいき館	お口の健康に関心がある65歳以上の人 対象*平成24年3~4月生まれの子ども
24 (木)	転倒予防自主トレーニング 転倒予防教室 健診結果相談会	9:30-12:00 10:00-11:30 受け付け/ 15:15-15:30	いきいき館 老人福祉センター 北公民館	理学療法士の運動指導 (注)健診結果を持参ください
25 (金)	リハビリ健康相談 認知症予防教室 3歳児健康診査	9:30-11:00 9:30-12:00 受け付け/ 12:30-12:45	いきいき館 一川目生活会館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ指導、相談 対象*平成21年7月生まれの子ども
26 (土)				
27 (日)				
28 (月)				
29 (火)	リハビリ健康相談 2歳児健診	9:30-11:00 受け付け/ 12:30-12:45	いきいき館 いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談 対象*平成22年6~7月生まれの子ども
30 (水)	転倒予防教室 健康運動講座	9:30-12:00 18:00-19:30	北公民館 東公民館	健康運動指導士による運動指導 申し込みは環境保健課へ
31 (木)	転倒予防教室 健診結果相談会	9:30-12:00 受け付け/ 15:15-15:30	のびのび館 いきいき館	理学療法士の運動指導 (注)健診結果を持参ください

祝 全国大会出場

活躍を期待しています 全力で頑張れ

第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会出場

五所川原工業高等学校1年 澤上亜羅樹選手(木ノ下中出身)

第12回全国小学生ソフトテニス大会出場

百石小学校5年 三村あかり・川口桃香ペア 木ノ下小学校5年 石川凜・姥名真子ペア



募集します
東京おいらせ会会員
募集中

企画面談
☎0178-564701

首都圏に暮らすおいらせ町出身・ゆかりのある人たちの交流を目的に、東京おいらせ会が設立されています。この会では、年1回の総会のほか、親睦会を開催しています。入会することで、おいらせ町の今がわかる町広報を毎月お届けするほか、交流会では懐かしい顔や人に出会えるチャンスが広がります。

今月はお正月です。帰省された皆さんへ「東京おいらせ会」であるんだってよ。入会するとゴルフ大会や紅葉狩りのイベントがあったり毎月広報が届くんだって」と、声かけしていただけませんでしょうか。情報伝達は、『クチコミが一番』。皆様のご協力をよろしく願います。

25年度入札参加希望業者は申請してください

十和田地域広域事務組合が25年度に発注する入札などに参加を希望する業者は、申請書を組合に提出してください。

●申請区分と有効年度

- 物品の製造請負、売買または役務提供など(25年度) ※中間年の受け付けとなりますので、24年に申請した場合は不要です。
- 建設工事及び測量・建設コンサルタントなど(25、26年度)

●提出書類 統一様式または組合指定様式(組合ホームページからダウンロード可)

●受付期間 1月15日(火)~2月15日(金)

●問い合わせ・提出先

十和田地域広域事務組合 ☎0176-208100
<http://www.towada-kouiki.jp/>

必ずチェック最低賃金! 使用者も、労働者も

青森県特定(産業別)最低賃金改正のお知らせ

1 青森県特定(産業別)最低賃金の金額等は、平成24年12月21日から、次のとおり改正されました。

- (1) 鉄鋼業 時間額777円(改正前 770円)
- (2) 電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 時間額712円(改正前 705円)
- (3) 各種商品小売業 時間額705円(改正前 698円)
- (4) 自動車小売業 時間額743円(改正前 736円)

2 なお、青森県で働く全ての労働者及び使用者に適用される「青森県最低賃金」は、平成24年10月12日から、時間額654円に改正されています。

3 詳しくは、青森労働局ホームページからもご覧いただけます。
(<http://aomori-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>)

青森労働局労働基準部賃金室
☎017-734-4114 FAX 017-734-5821

各種健診の受診は1月中までです

Health Information

1 特定健康診査(環境保健課へ事前申し込み必要)

- 対象 20~39歳の全町民
40~74歳の国保加入者
後期高齢者医療制度加入者
- 内容 生活習慣病を発見するための健診
- 受診可能な医療機関
石田温泉病院、三上医院、下田診療所
- 受診料 1,000円



2 乳がん検診(環境保健課へ事前申し込み必要)

- 対象 40歳以上の偶数年齢の女性
- 受診可能な医療機関
国民健康保険おいらせ病院、八戸西健診プラザ
- 受診料 1,200円

3 子宮がん検診(環境保健課へ事前申し込み必要)

- 対象 20歳以上の女性
- 受診可能な医療機関
八戸市内産婦人科開業医、八戸西健診プラザ
- 受診料 800円
※卵巣超音波検査は別途1,050円程度かかります。

4 歯周疾患健診(各医療機関へ直接予約)

- 対象 40・50・60・70歳の人
- 受診可能な医療機関
木村歯科医院、昆歯科医院、
あとむら歯科医院、めとき歯科医院
- 受診料 無料

●いずれの年齢も25年3月31日現在の年齢です。詳しいことは気軽に問い合わせてください。
●全ての受診期限は1月31日(木)までです。申し込みは忘れずに。

1~3は非課税世帯の人(要証明書)は無料になります。無料になる証明書は、環境保健課・町民課・北公民館で発行しています。印鑑と本人を確認できるものをお持ちください。

環境保健課 ☎0178-564218

こんにちは赤ちゃん

10件/届出14件

- 天坂太翼くん (昌太郎・ゆかり) 上新町
- 田嶋眺大朗くん (善幸・美奈子) 七軒町
- 佐々木脩吏くん (幸司・亜希子) 緑ヶ丘
- 本宿斗武くん (敦・知美) 木ノ下
- 山本汰生くん (徹・里奈) 鶺久保
- 中村翔太くん (時男・麻実) 二川目
- 竹内芹菜ちゃん (友晴・由佳) 二川目

戸籍の窓

11月に届け出し、掲載を希望した人を載せています。

- 竹ヶ原蒼太くん (正克・由佳) 二川目
- 築井惇くん (生・瑞希) 若葉
- 松林泰生くん (智哉・博美) 上新町

結婚おめでとう

2件/届出3件

- 成田寛仁 阿光坊
- 中村幸子 八戸市
- 中里隼也 八戸市
- 盛美幸 三沢市

まちの人口と世帯 (12月1日現在)

	人口	前月比
男性	12,185	↑ 3
女性	12,927	↓ 11
合計	25,112	↓ 8
	世帯数	前月比
世帯	9,611	↓ 4

お悔やみ申し上げます

13件/届出15件

- 澤口長悦 74歳 藤川目
- 木村末吉 83歳 藤川目
- 三村サヨ 77歳 日ヶ久保
- 久保田春雄 59歳 鶺久保
- 最上トミ 90歳 日ヶ久保
- 上久保滝藏 85歳 木ノ下
- 張田ケイ子 70歳 藤川目
- 鳥谷部善太郎 68歳 藤川目
- 川口萬吉 92歳 藤川目
- 菊地昭三 84歳 若葉
- 松林ヨシノ 88歳 向平
- 松本力チ 89歳 木崎
- 川口吉哉 75歳 藤ヶ森

編集後記

▼12月7日に発生した東北地方への広範囲にわたった地震は、当町への影響はありませんでしたが、発生の瞬間は、役場の地震計測器の赤いランプが点滅、職員の携帯メールが一斉に鳴り、震災時に味わった大きな不安が脳裏をよぎりました。▼地震後に記録写真の撮影で沿岸地域の避難所を巡回しました。津波注意報が出されると、避難所を円滑に設置し、迅速に避難していた人たちがいたことに震災の教訓が生かされていると実感しました。備えや意識が大切だということを、あらためて実感しました。2013年は災害のない年になればと切に願いました。▼皆さまにおかれましては健康な一年となるよう願っております。今年もどうぞよろしくお願いたします。

企画課 広報担当 野崎

【12月11日現在】

たくさんのご支援 ありがとうございます

東日本大震災で被害を受けた本町に多くの方々から災害義援金をいただきました。11月13日から12月11日現在までにいただいた分を掲載しています。(順不同、敬称略。匿名の方や本人の意向により掲載してほしくない方は省略させていただきます。)

災害義援金

- ▶大山行雄 ▶隅田美穂 ▶さかなクン ▶ロックフィッシュ関口一就 ▶藤田須磨 ▶西山達二 ▶深井和子 ▶Lab ラブ ▶寺本孝 ▶秋元恵 ▶小松原圓 ▶小田島一夫 ▶鳴海まりか ▶榛葉信夫 ▶豊嶋鈴寿華 ▶菅野恵 ▶中西友一 ▶山崎博司

おいらせ町災害復興支援寄附金 33,580,085円

おいらせ町災害義援金 32,018,271円

ご寄付いただきました方々の寄付目的を確認した上で、災害義援金と復興支援寄附金とに分けて受付しております。
●復興支援寄附金は、被災者の生活・経済活動復興のための支援に使わせていただきます。
●災害義援金は、被災者に対して被災程度に応じて配分しております。

■災害義援金の配分
義援金を公平かつ効果的に配分するために、おいらせ町災害義援金配分委員会を開催し、被災者の被災程度に応じて配分しています。
○配分済額 30,020,000円 (現在高 1,998,271円 (12月11日現在))

義援金の受付を再延長しています

おいらせ町では東北地方太平洋沖地震の被災者支援のため、災害義援金を受け付けています。皆様のご協力をお願いいたします。

- ◆口座振込みの場合 (①②ともに手数料はかかりません)
①青い森信用金庫おいらせ支店 ②ゆうちょ銀行 00160-3-663
普通 0215659 口座名義：おいらせ町災害対策本部
口座名義：おいらせ町災害義援金 (平成25年3月29日まで受け付け)
(平成25年3月29日まで受け付け)
- ◆郵便による義援金の送金
平成25年3月31日まで受け付け
全国の郵便局窓口からの現金書留の郵送は郵便手数料はかかりません
- ◆現金による義援金納付も受け付けています。平成25年3月29日まで

◆受付窓口
本庁舎 2F 総務課
分庁舎 1F
分庁サービス課

♡寄付ありがとうございます♡
◆おいらせ町ダンススポーツクラブから教材費を寄付いただき、町長立会いのもと、もりのか保育園へ寄贈しました。
◆木村文字さん(一川目)から奨学資金を寄付いただきました。
◆町地域振興協議会から着ぐるみ「おいらくん」1体を寄付いただきました。
◆県郵便局長協会上北東部会からタオル400本を寄付いただきました。

家族葬会館 おいらせ町一川目一丁目 73-1796

葬儀用新品祭壇備えつけ及びお棺・骨箱・塔婆・下駄・草履・ローソク・せんこうなど葬儀に使用する品物一切が30万円でサービスします。(霊柩車・バス代は別料金) 北浜葬儀センターの事業区域は、おいらせ町全域です。

有限会社 北浜葬儀センター おいらせ町二川目四丁目 73-1468 ☎ 0178-53-2614

会館使用料は1日1万円

※有料広告です

震災復興祈念 おいらせ町

和太鼓 フェスティバル

迫力ある和の音色に
観客 800 人が酔いしれました



- 1 力強く演奏するソロの演奏。迫力満点【胡蝶蘭舞】
- 2 大人に負けじとハイパフォーマンスを披露する【胡蝶蘭舞】
- 3 町のイメージキャラクター『おいらくん』もフェスティバルに登場
- 4 笛や手平鉦が太鼓演奏のアクセントに【王将太鼓】
- 5 激しく華麗なばちさばきで観客を魅了した【鼓童】
- 6 威勢のよい掛け声と体全体を使った演奏【山木屋太鼓】
- 7 総勢9人での演奏。ダイナミックで息もぴったり【氷上共鳴会】
- 8 演奏に聞き入っている観客。演奏終了後は出演者に惜しみない拍手が送られていた



『オリヤー』威勢の良い掛け声とともに、迫力ある和太鼓独特の重低音が会場を包みこみます。和太鼓フェスティバル実行委員会（斎藤圭一実行委員長）は、12月9日、震災復興祈念おいらせ町和太鼓フェスティバルを町民交流センターで開催しました。今回の出演団体は全部で5団体。

東日本大震災で大きな被害を受けた福島県川俣町の『山木屋太鼓』と岩手県陸前高田市の『氷上共鳴会』が、震災の悲しみを乗り越え、力強い姿で演奏し、大勢の観客に元気を届けました。大迫力の演奏に会場からはひととき大きな歓声と拍手が送られていました。震災後は、両団体とも、公演先での大きな拍手や声援が何よりの活力源になっています。

当町からの出演は王将太鼓と胡蝶蘭舞。どちらも町の顔として、数多くのイベントに出演しています。今回も代表曲を引っさげて、いきいきと完成度の高いパフォーマンスを観客に披露していました。

ラストの公演はプロの太鼓集団『鼓童』。静まりかえった会場に気合いの入った掛け声と迫力ある高速連打、和太鼓特有のノビのある響きが会場全体を包み込み、幻想的な空間を醸し出しました。

公演終了後は、なりやまない拍手とスタンディングオベーション。会場が大きな熱気に包まれ出演者も観客も感動を分かち合っていました。

鼓童 (特別出演)

81年結成の和太鼓プロ集団。日本のみならず世界の芸術・音楽表現に強い影響を与えている。活動は、これまで46カ国で公演し、世界のアーティストや芸術関係者から注目を集める。今回は5人の特別編成で来町し公演を行った。



胡蝶蘭舞 (おいらせ町)

04年結成。地元町内会の有志が集まり始まった。現メンバーは子どもから大人まで14人。「蝶のように心躍る楽しい演奏を目指し、聴く人の心に響く演奏が出来るようなチームになる」と胡蝶蘭舞と命名。町内外のイベントに多数出演している。



王将太鼓 (おいらせ町)

91年結成。将棋の大山康晴名人に命名された太鼓集団。現メンバーは9人。太鼓や笛以外にシンセサイザーやスチールドラム・カホンなどの洋楽器を導入した独自のスタイルを確立。代表曲は「八戸小唄・南部俵積み唄・八幡馬」をアレンジし構成している。「華炎」・「泉南」地方を中心に多数イベントに出演し、多くのファンに愛されている。



氷上共鳴会 (岩手県陸前高田市)

93年結成。震災で壊滅的ダメージを受けた陸前高田市を活動拠点とする太鼓集団でメンバーは48人。7人の会員が震災で犠牲になりながらも、多くの人たちから前進する勇気をもたらした感謝の気持ちを太鼓で伝えるため活動している。実力は折り紙つきで、全国和太鼓フェスティバルにも出演。精力的に活動を展開中。



山木屋太鼓 (福島県川俣町)

01年結成。3チームで活動し今回来町したチーム「山猿」は5人。今回は4人での出演。福島第一原発の影響を受け、故郷を離れ生活しているが、太鼓があつたからこそ故郷を忘れることなく、仲間と集まることが出来る。震災後は多くの人たちからの恩を忘れて、感謝の気持ちを持ち、太鼓を通じて自分たちの故郷を感じてもらえるように演奏している。



出演団体 (出演順)

良質なだるま芋づくりに取り組む

松林チヨさん



Profile

まつばやし・ちよ 1937年(昭和12)生まれ。8年前からだるま芋作りをはじめ、現在は種まきから収穫までを1人で行っている。
チヨさんオススメのだるま芋の食べ方は『バター焼き』。バターの香りとマッチします。カレーや煮物にも相性抜群とのこと。
家族は息子と2人暮らし。木ノ下在住。75歳。

ナガイモは、町の特産品として代表的な農産物です。一部の農家ではナガイモを品種改良した『だるま芋』というイモを生産しています。だるま芋は、ナガイモに比べ、甘みや風味が強く、中身がぎつしり詰まっているので、すつても箸でつまめるような弾力があるのが特徴です。

松林さんは、だるま芋を生産して8年目、肥料の配分や収穫時期を毎年考慮し、試行錯誤を重ねながら生産しています。

「重さは1^キ程度が良質で、それ以外のものは、甘味や風味が落ちてしまいます。売り物にするには形にもこだわらない」と、松林さんのだるま芋の生産にかける想いは、とても熱心です。

松林さんが、だるま芋生産にやりがいを感じる時は、「だるま芋のPR活動で試食してもらった人から『おいしい、ぜひまた食べたい』と評価していただいたときは本当にうれいです」とっこり話してくれました。



「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」の情報誌

広報 おいらせ